

## 「夏の到来、待ちに待ったプール開き」

(6/10 南丹市八木B&G海洋センター・八木町)

南丹市で先頭きってプール開きをした八木B&G海洋センターでは、オープン初日の午後1時30分にはオープンを心待ちにする小学生や家族連れの姿がありました。無料開放されたこの日、水温は17.5度と少し低めでしたが、35人の利用者が水しぶきをあげて初泳ぎを楽しみました。市内の幼児・小中学生は無料、高校生以上の一般は100円で利用ができ、9月3日まで開館(木曜休館・盆休有)されます。



水しぶきをあげて、元気いっぱい楽しむ小学生たち

## 「竹馬・竹ぼっくりで昔の遊びを体験」

蜻竹馬・竹ぼっくりを作って遊ぼう

(6/19 八木町東部児童館・八木町)



八木町東部児童館で、地元の竹を使った竹馬と竹ぼっくりを作製して、子どもたちに昔の遊びを体験してもらう取り組みが行われました。

集まった子どもたちは、用意された竹と角材を針金で上手に固定して、それぞれに竹馬と竹ぼっくりを作りました。最初は大人に支えてもらいながら恐々と乗っていた子どもたちも、慣れてくるとグラウンドの中を一人で歩いていました。

## 「一泊二日で、天然うなぎ釣りに挑戦」

(7/8~7/9 宮島振興会・美山町)

南丹市美山町の宮島振興会が主催する「美山天然うなぎ釣り体験ツアー」が1泊2日で実施され、およそ50人の家族連れが参加しました。

参加者らは、地元の方の指導でうなぎの仕掛けを作った後、近くの由良川で餌になる小魚などを釣りました。そして、うなぎの居そうなところに、作った仕掛けを仕込んで朝を待ちます。

翌朝4時に仕掛けを上げに行くと「1匹釣った」との一報。みんな期待に胸をふくらませて他の仕掛けを上げましたが、釣れたのはこの1匹だけでした。それでも参加者らは、腹が金色に光った天然のうなぎに感激していました。



蜻ぼくが釣った天然のうなぎ

## 「たくさんの種類の魚が採れたよ」

(7/1・7/8 水辺の観察・八木町)



ひざまで水に漬かりながら魚を捕る子どもたち

子どもたちに、ふるさとの自然を感じながら自然環境保全の大切さを学んでもらおうと八木町内の小学生を対象に市教育委員会主催の「水辺の観察」が行われました。7月1日に事前学習が行われた後、7月8日に八木町西田地区の用水路で魚を採りました。参加した子どもたちは、用水路を泳ぐ魚を追い回しながら採っていました。採った魚は、水そうで育てて観察した後、元の用水路へ放されます。